

（出題の背景）

近年、医療や生命科学の進歩は著しいが、2つの大きな問題を抱えている。一つは倫理的な問題であり、遺伝子による命の選別や遺伝子改変によるデザインベビーの誕生の試みなど様々な課題がある。健康な社会を築くという大義名分と競争社会を勝ち残りたいという人間の欲求がせめぎ合い、簡単に結論が出る問題ではなく、さらにどこかの組織や国が出し抜いて先行するのではないかと疑念も背景に横たわる。一方、高度な医療技術にはコストがかかり、それは原材料費や技術料の問題だけでなく、人件費やインフラも含めて医療のコストを誰が負担するのかという問題になっている。わが国では安く医療を提供する仕組みがあったため、医療に対する国民のコスト意識が低く、無料が前提という幻想があり、7割引きの保険診療を3割負担と呼称して違和感がない世論が形成されている。社会保障をどう考えるか、社会保障の負担を誰がするのかという視点なしに今後の医療を語れない。本設問は上記2つの課題に対してどのような問題意識をもっているかを問う意図で出題した。

1. 医療技術が進むことで、どのような倫理的問題が考えられるでしょうか？

（解答に含まれるべき内容例）

遺伝子改変、デザインベビー、遺伝子治療、先制医療、パーソナルヘルスレコード、倫理指針、基本的人権、自己決定権、延命治療、トロッコ問題など

2. すべての人が先進的な医療を公平に受けられるようにするには、どのような仕組みが必要だと考えますか？現在の課題と、今後の対策について述べてください。

（解答に含まれるべき内容例）

社会保障、健康保険、税金、医療費、応能負担、応益負担、高額療養費、医療技術の進歩、特許、働き方改革など

2025 年度 慶應義塾大学大学院 医学研究科修士課程入学試験(第 2 期) : 会場試験問題

(出題の背景)

近年、AI (artificial intelligence)、特に生成 AI の発展や普及により、画像診断、病理診断、さらに検診や一般的な臨床診断、保険診療の査定などにも AI が用いられる方向で世の中の流れが加速しつつある。AI を利用した医療の効率化(労働時間の短縮やコストカット)、精緻化、均てん化、医学研究の発展への寄与に対する期待が高まると同時に、その野放図な利用による弊害も懸念されている。一つは AI に頼り過ぎることによる人材の劣化であり、自ら考えたり新しいものを作り出したりする好奇心や創造力の欠如を招き、ひいては医学研究の衰退やそれによる医療の発展を阻害する可能性がある。また AI 技術の寡占化による富と技術の不均衡配分は命の重みの格差を助長する危険性もある。さらに法的な側面の問題もあり、AI による誤診が医療事故を招いた場合の責任の所在や補償のあり方なども曖昧なままである。これは単に法的な側面だけでなく、道徳的な側面も含むため国民的な議論が必要である。

1. 高度な AI の普及は医療の現場にどのような影響を与えると予想しますか。

(解答に含まれるべき内容例)

効率化、労働時間の短縮、コストカット、精緻化、均てん化、人材、好奇心、創造力、
医学研究、寡占化、格差

2. AI の診断結果が誤診であり、それに基づいた手術を外科医が行って医療事故が発生したと仮定します。この場合、医療事故の責任は負うのは誰だと考えますか? またその理由は何ですか?

(解答に含まれるべき内容例)

医師法、プロフェッショナリズム、責任、医療事故調査委員会、法曹界、世論、補償、
道徳、国民的な議論